



J-MARINE CLOUD

J-Marine Cloud 総合カタログ



INDEX |

1. J-Marine Cloud とは?	_____	3
2. Smart Ship Viewer (SSV) 	_____	4
3. SSV Mobile 	_____	9
4. J-Marine NeCST 	_____	10
5. NeCST Manager 	_____	14
6. Inmarsat Fleet Xpress (FX) 	_____	16
7. VSAT 	_____	17
8. 衛星ワンストップサービス 	_____	18
9. リモートメンテナンスシステム (RMS) 	_____	19
10. J-Marine GIS 	_____	20



J-Marine Cloud 船舶機器

船舶に設置して使用する J-Marine Cloud 対応製品およびサービス



J-Marine Cloud 陸上サービス

陸上に設置して使用する J-Marine Cloud 対応製品およびサービス



SDGs 対応製品

2030 年までに世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる目標に対応した製品およびサービス



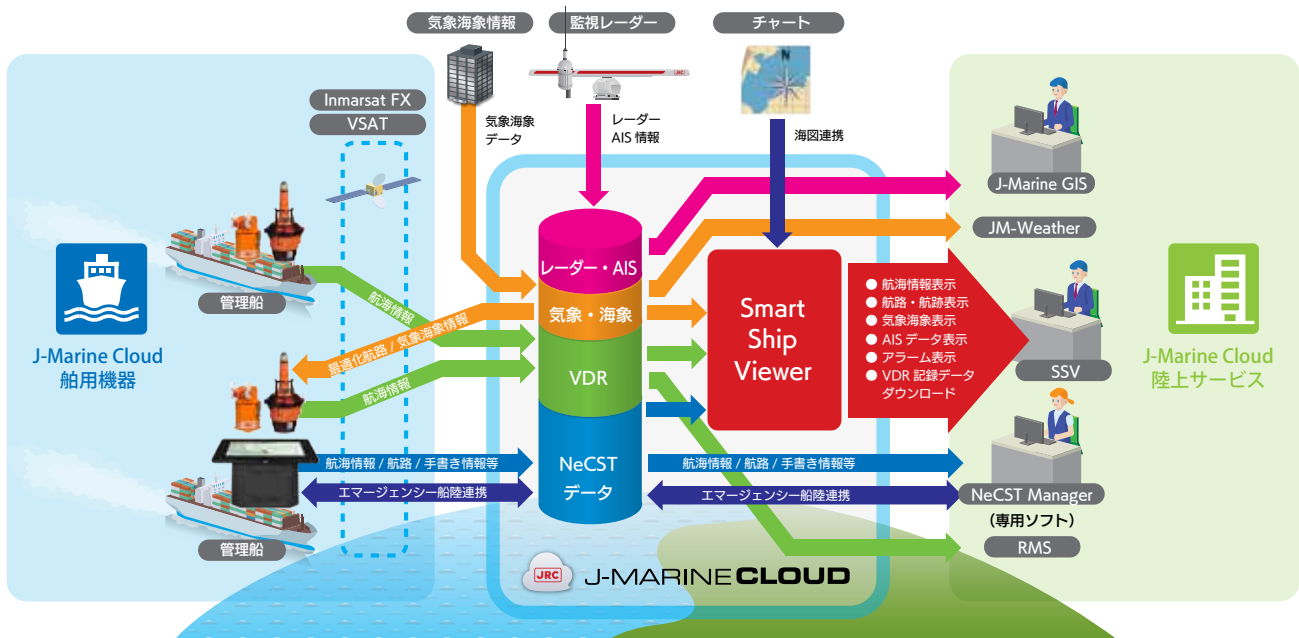
ClassNK イノベーションエンドースメント

革新的な機能について第三者機関である日本海事協会が認証し、証明書を発行することで、製品やサービスの展開をサポートをするものです。J-Marine Cloud の詳細な確認・検証がおこなわれ、同認証を取得しました。

J-Marine Cloud とは？

船舶の見える化を実現し、
安全安心でスマートな運航管理を目指すサービスです。

J-Marine Cloud は、気象・海象情報、AIS 情報などの各種情報を共通プラットフォームに収集します。また、船舶に搭載された VDR や J-Marine NeCST などを通して、航海データ、航路計画、航海機器状態などの各種データも集約します。これらのデータを組み合わせることで、陸上の運航管理者に対して高度な船舶管理および運航支援ソリューションを提供します。さらに、気象・海象情報提供サービスや最適航路支援サービスなど、J-Marine Cloud から船舶に提供する各種サービスにより、本船上での意思決定を強力に支援します。これらの機能により、省エネルギー航行・環境対策・海賊対策など、運航に関してのさまざまな問題の改善・解決の支援に貢献します。



J-Marine Cloud の 3 つの特色

1: 共通プラットフォームに収集・提供

さまざまな情報を共通プラットフォームである「J-Marine Cloud」で収集することで、多様なコンテンツを提供することができます。

Smart Ship Viewer

SSV Mobile

JM-Weather

2: 海・陸から収集した情報をデータベース化

気象・海象情報提供事業者、陸上レーダー局・陸上 AIS (別途設置が必要) などから収集した各種情報をデータベース化し、複数のモニターやパソコンに重畳表示します。

J-Marine Cloud

J-Marine NeCST

NeCST Manager

Smart Ship Viewer

3: 航海・運航に関するさまざまな問題の解決

省エネルギー航行・環境対策・海賊対策など、陸上からの的確な運航支援や、運航に関してのさまざまな問題の改善・解決の支援に貢献します。

Smart Ship Viewer

J-Marine NeCST

J-Marine GIS

リモートメンテナンスシステム

Smart Ship Viewer (SSV)

効率的かつ安全安心な
運航管理に貢献



SSV Mobile



Smart Ship Viewer[Fleet Viewer画面]

Smart Ship Viewer (SSV) は、本船の運航状況把握等、VDR データダウンロード、船陸間の情報共有により、経済的かつ安全安心な運航管理をサポートします。

Inmarsat FX 等の常時接続型衛星通信装置を持つ船舶に当社製の機器を搭載することで、船舶の状況を Web ブラウザから「見たい時に見ることが可能」となり、経済的かつ安全安心な運航管理を支援します。

- 本機能を使用するためには、Smart Ship Viewer 契約および Smart Ship Viewer への接続環境 (Web ブラウザー) が必要です。
- 陸上側にインターネット接続したパソコンが必要です。SSV Mobile 使用時には専用アプリをインストールしたスマートフォンが必要です。
- 船舶側に VDR/S-VDR または J-Marine NeCST または J-Marine Box、および Inmarsat FX または VSAT 等のインターネット接続機器の搭載が必要です。



J-Marine Box
NDC-7010



船舶に搭載された航海機器の情報を J-Marine Cloud へ送信するための装置です。
J-Marine Cloud に蓄積された情報は Smart Ship Viewer でご覧いただけます。

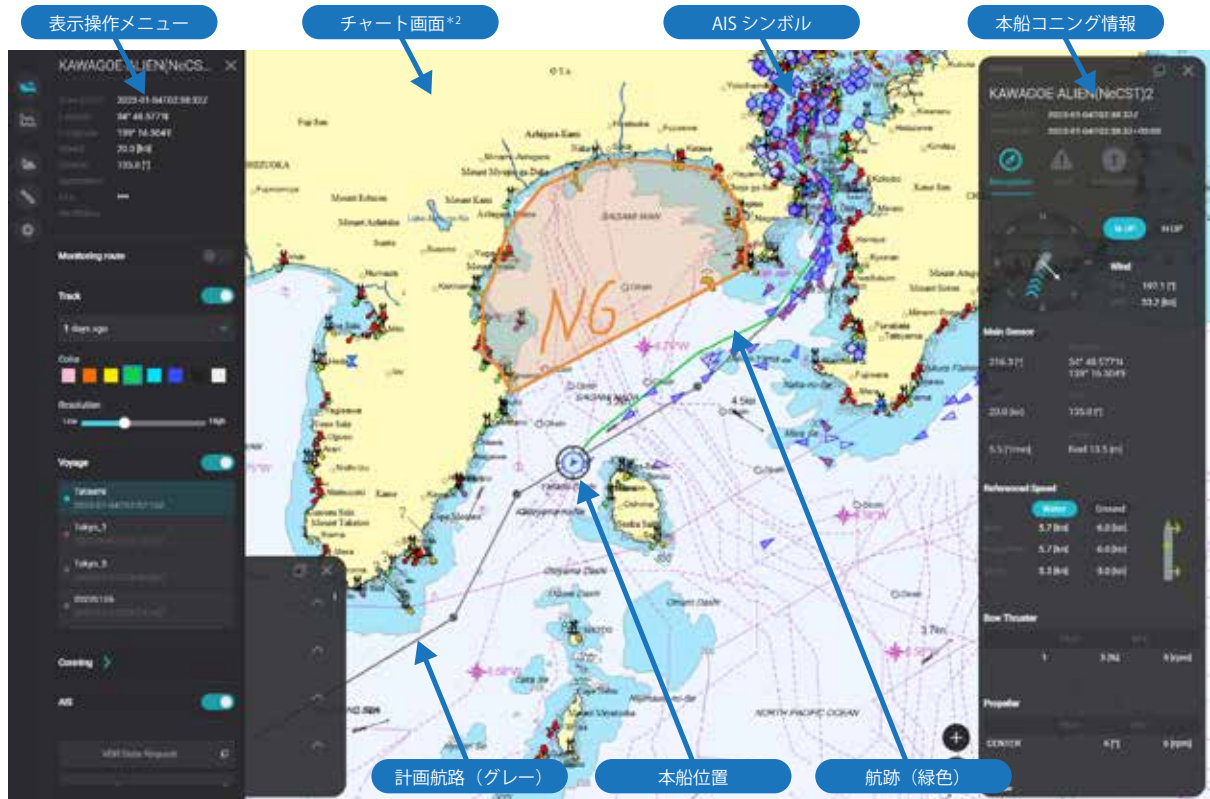
船舶モニタリングサービス

オフィスのパソコンから洋上の本船の動静をモニタリング

陸上の運航管理者は事務所に居ながら本船の動静や当社製機器の状態を Web ブラウザーにより確認できる船舶モニタリングサービスです*¹。効率的な運航管理や突然の機器トラブル回避にも貢献します。

* 1: このサービスは、Inmarsat FX または VSAT 等のインターネット接続機器の搭載が前提になります。モニタリングできる情報は、搭載される機器構成により異なります。

SSV 基本画面構成



* 2: 本チャートは航海用に提供するものではありません。このチャートは C-MAP です。使用の際にはオプション契約が必要です。



VDR データダウンロードサービス |

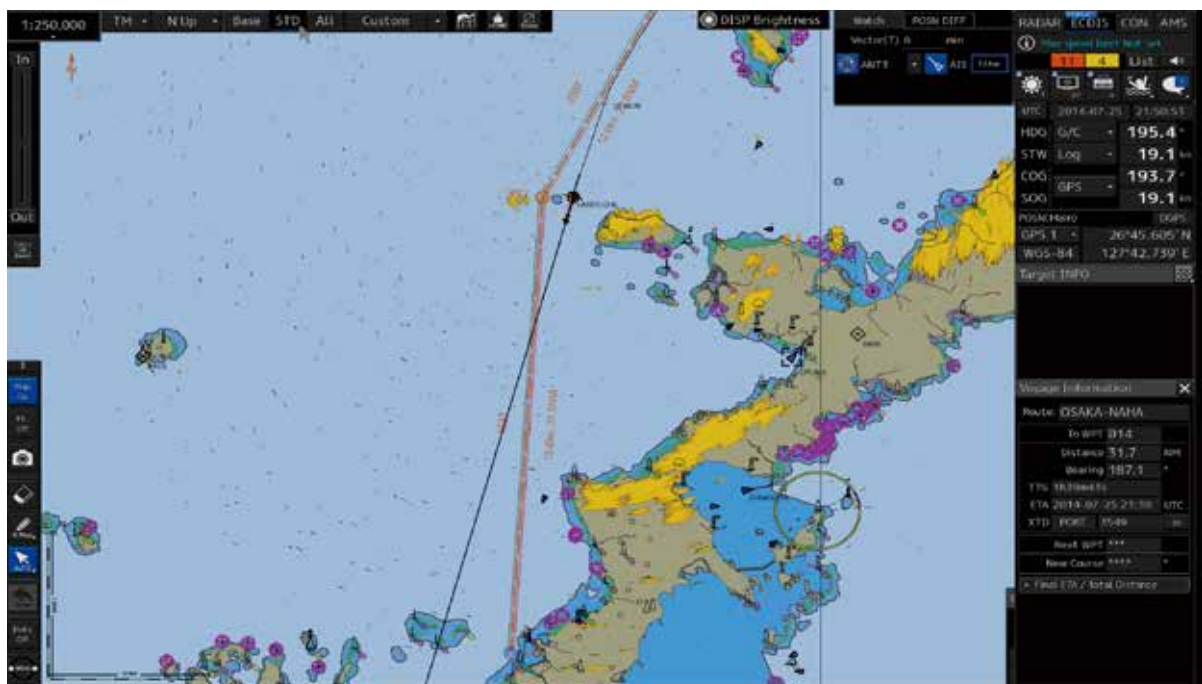
海難事故発生時の迅速な状況把握に

本船に搭載されたVDR/S-VDR^{*1}に蓄積されたデータを、J-Marine Cloud を介して陸上側にて入手できるサービスです。また、入手したデータは、VDR Real time monitor ソフトウェア^{*2}を使って再生することが可能です。本船の航行状況の確認や、万が一、海難事故が発生した場合に、船員の手を煩わせることなく、迅速な事故状況の把握に貢献します。

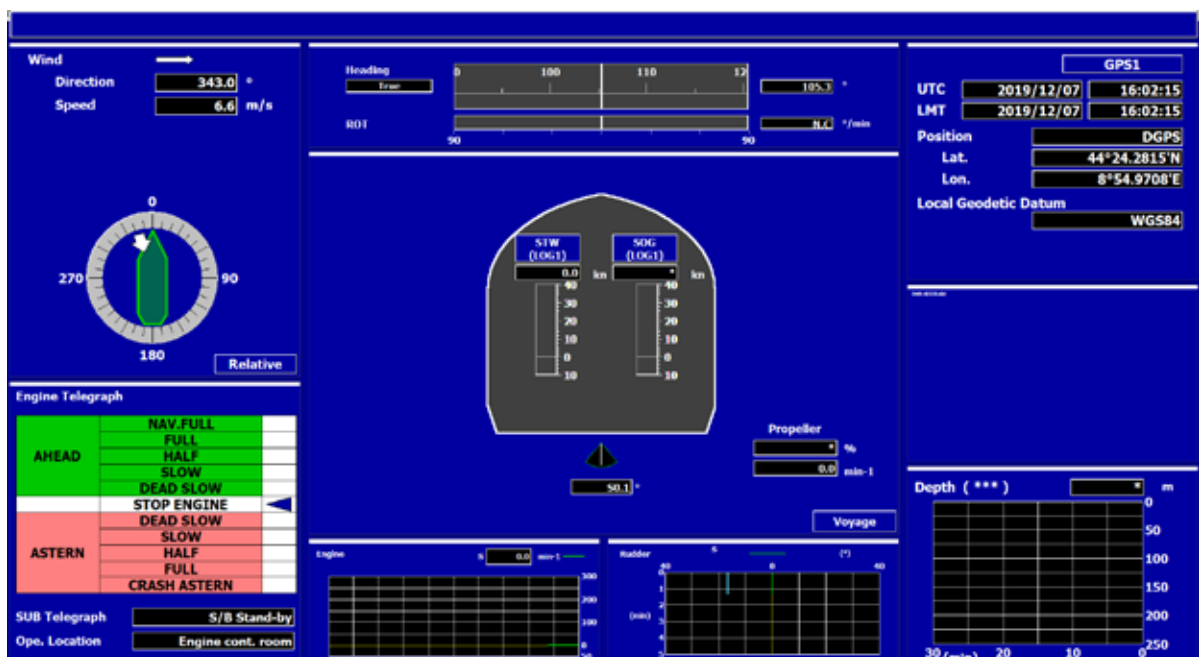
* 1: 本サービスは JCY-1900/1950 のみ対応し、JCY-1800/1850 や他社製 VDR/S-VDR には対応しておりません。* 2: 当社製ソフトウェアです。弊社営業にお問い合わせください。

VDR/S-VDR 蓄積データ

- レーダーの画像記録
- ECDISの画像記録
- センサーデータ (AIS、GPS、測深器、ジャイロ、スピードログなど)
- 船橋音声記録
- VHF通話音声



ECDIS 画像再生画面



VDR Real time monitor ソフトウェア再生画面

航路離脱監視機能

船舶と陸上で共有することにより、素早く航路離脱を察知

航路離脱監視機能^{*1}を導入することにより、アラート確認作業が陸側（SSV Mobile や SSV 表示画面）でも可能になります。航路離脱のアラート発生時にはいち早く陸側から船舶側に連絡することで、事故リスク低減を支援します。

* 1: このサービスは、Inmarsat FX または VSAT 等のインターネット接続機器の搭載が前提になります。モニタリングできる情報は、搭載される機器構成により異なります。



航路離脱アラート監視の二重化が可能

* 2 : BAM = Bridge Alert Management (船橋アラート管理)

航路離脱の判定方法

航路離脱時における判定方法は2種あり、目的に合わせ選択が可能です。本船の搭載機器によって両方の航路離脱判定方法を使うことが可能です。

①クラウドによる判定

航路離脱の兆候を厳しく管理・把握したい場合

クラウドにアップロードされた本船の現在位置 (GPS 位置情報) が、設定された航路幅からはみ出していないかをクラウドサーバーにて計算処理します。航路幅は陸上オペレーターでも設定できるため、航路離脱の兆候を厳しく管理・把握できます。

構成：J-Marine NeCST



② BAM 情報による判定

Depth Alert も一緒に把握したい場合

BAM 情報に含まれる航路離脱情報を用いて航路離脱を判定します。航路離脱以外にも浅水域航行などの判定も可能となります。これにより、本船で発生しているアラートと同じ情報を陸上で把握できます。

構成：当社製 VDR/S-VDR JCY-1900/1950

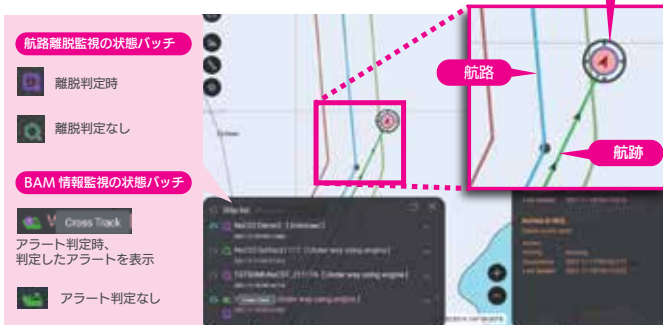


対応 BAM 情報：Cross Track、Deviation From Route、Depth Alert、Crossing Safety Contour、Caution Symbol、Alarm Symbol

航路離脱時の表示画面

「SSV Mobile」での航路離脱時の表示は、通知メッセージ表示のみです。

SSV ブラウザー版



SSV Mobile 版



航路離脱したことを通知するメッセージ

航海計画共有機能

NeCST の航路計画を管理船間で共有

J-Marine NeCST で作成した航海計画を J-Marine Cloud に蓄積することにより、その情報を管理船間の J-Marine NeCST で共有することが可能です。このサービスにより、同じ航路を航海する場合等に航海計画の作成負担を軽減することが可能です。なお、本サービスは、各船に J-Marine NeCST が必要です。



NeCST で作成した航海計画を管理下の本船間で共有可能

データダウンロード機能

本船のセンサー情報を CSV 形式でダウンロード

クラウドに蓄積された各船のセンサー情報を CSV 形式でダウンロードが可能です。この機能により、航海実績の解析が容易におこなうことができます。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Time	Latitude[°]	Longitude	COG[°]	SOG[kn]	HDG[°]	ROT[°]	/mWind Dire	Wind Spee
2	2021-11-2	34.55881	139.5548	196	1	196	0	232.0975	12.17863
3	2021-11-2	34.55617	139.5538	196	1	196	0	285.3223	14.95481
4	2021-11-2	34.55354	139.5529	196	1	196	0	246.086	16.34105
5	2021-11-2	34.55091	139.552	196	1	196	0	204.9978	17.01163
6	2021-11-2	34.54827	139.5511	196	1	196	0	261.7305	9.547331

本船の設定した時刻、緯度/経度、対地船速、対水船速、船首方位、風速などを陸側で取得することができます。

計測機能

本船と海岸線、他船との距離測定が可能

地図上での本船管理機能として、「地図上における 2 点間の距離と方位の測定」、「地図上で指定した範囲の面積と外周距離の測定」、「EBL や VRM をイメージした距離の測定」の 3 つの機能を実装しています。これらの機能を活用することにより、陸上オペレーターがモニタリングしている際に、海岸線や他船からの距離が確認可能となり、危険予測に貢献します。



方位・距離測定
地図上で 2 点間の方位と距離を測定表示



面積・外周距離測定
地図上で指定した範囲の面積と外周距離を測定表示



EBL・VRM 測定
レーダー画面をイメージした方位と距離を測定表示

SSV Mobile



スマートフォンアプリ/エスエスピーモバイル

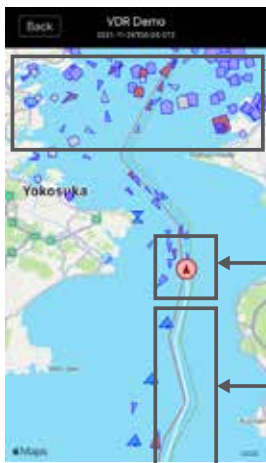
スマートフォンから本船の運航状況や 緊急情報入手・共有が可能

アプリ 表示情報

- ・管理船の一覧表示
- ・エマージェンシー時の通知、チャット機能
- ・海図上での本船位置

スマートフォン画面に管理している船舶の一覧を表示することが可能です。船名、データの最終受信時刻、緯度・経度のほかに、エマージェンシー発生の有無や本船に搭載された当社製船用機器の状態も把握することができます。

また、本船に搭載される J-Marine NeCST のエマージェンシー機能と連携したエマージェンシー通知やチャット機能により、万が一、本船に緊急事態が生じた際にはその発生をスマートフォンでいち早く把握でき、さらに本船とのメッセージ交換によって早期対応が可能となります。



他船シンボル (AIS)

《他船シンボルの形状と色》

形状：船舶の速力によって変化

色：船舶の状態と船種によって変化

本船位置シンボル

航跡・航路

SSV Mobile アプリ ダウンロードはこちらから

※ iOS 版のみ対応 2022 年 12 月現在

Download on the
App Store



- iOS 互換性：iOS12.0 以降 iPhone、iPad、および iPod touch に対応しています。
- Apple、Apple のロゴ、iPad、iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

Smart Ship Viewer 提供サービスと対応機器

Smart Ship Viewer は本船の搭載機器の組み合わせにより、ご利用可能なサービスが異なります。

SSV 提供サービス名	サービス内容	センサー情報源	センサー情報取得 I/F	JM-Cloud 連携装置	その他接続機器	衛星通信			
導入モデル①	船舶モニタリング	管理船の動静管理、機器モニタリング	レーダー、ECDIS、GPS、AIS、Gyro、その他	JCY-1900/1950	レーダー、ECDIS、AIS、GPS コンパス、GPS 航法装置など				
	VDR ダウンロード	VDR 蓄積データを陸上でダウンロード							
	データダウンロード	クラウド蓄積データを CSV でダウンロード							
	計測機能	SSV 画面上で距離計測が可能							
	SSV Mobile	スマホで SSV 情報を取得可能							
航路離脱監視機能※	航路離脱アラートを陸上で監視	ECDIS		ECDIS					
導入モデル②	船舶モニタリング	管理船の動静管理、機器モニタリング	レーダー、ECDIS、GPS、AIS、Gyro、その他	JCY-1900/1950	レーダー、ECDIS、AIS、GPS コンパス、GPS 航法装置など	FX または VSAT			
	VDR ダウンロード	VDR 蓄積データを陸上でダウンロード							
	航海計画共有機能	NeCST の航海計画を陸上で共有					JCY-1900/1950	NeCST	ECDIS
	航路離脱監視機能※	航路離脱アラートを陸上で監視							
	プレイバック	NeCST のカメラ情報などを遡って再生							
③	船舶モニタリング	管理船の動静管理、機器モニタリング	GPS、AIS、Gyro、その他	JCY-1800/1850	AIS、GPS コンパス、GPS 航法装置など				
航海計画共有機能	NeCST の航海計画を陸上で共有								
④	船舶モニタリング	管理船の動静管理、機器モニタリング		J-Marine BOX					

※航路離脱監視機能はオプションです。

J-Marine NeCST NeCST Manager

ジェイマリン ネクスト/ネクスト マネージャー

JAN-470/471

電子海図に簡単手書き入力、
ECDIS 連携で航海情報管理の新時代へ



46インチタイプ

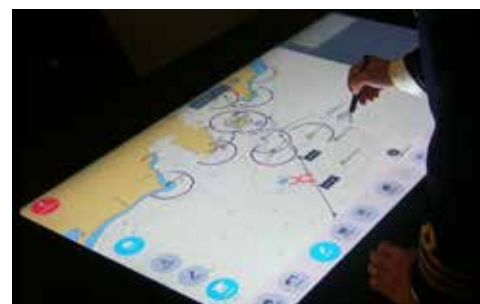
26インチタイプ

J-Marine NeCST

紙海図以上の使い勝手

46 インチタッチパネルモニターに表示された電子海図は使い慣れた紙海図と同じ感覚で航路を作成できます。またディスプレイはマルチタッチに対応しており、クリック、ピンチ、ドラッグなどスマートフォンと同じ要領で海図の拡大・縮小等を指先で操作できます。さらに海図に手書きでコメントを入力することもできます。航路の作成時にユーザーマップの追加もでき、タッチペンも使用可能です。

NeCST: Navigational electronic Conning Station Table



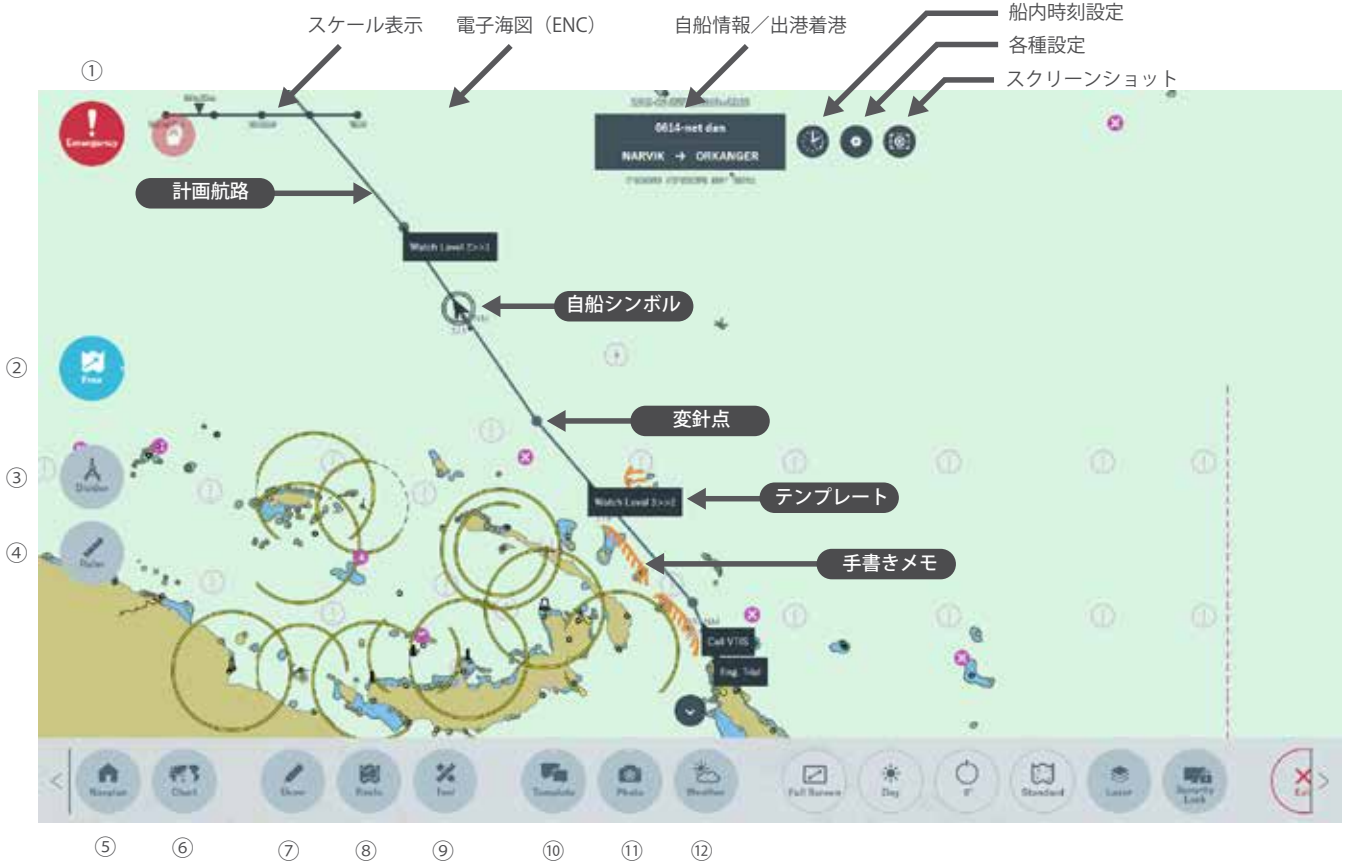
ECDIS との連携

国際航海に従事する 500 トン以上の旅客船と 3,000 トン以上の貨物船は、ECDIS を搭載することが義務付けられています。NeCST は、作成した航路計画や入力された手書き情報をそのまま ECDIS へエクスポートすることができ、加工することなく航海に使用することができます。



J-Marine NeCST トップ画面構成

NeCST は、電子海図を含む航海情報を大型ディスプレイ上で管理・共有する運航支援装置です。この NeCST がもつ手書きなどのさまざまな機能と気象・海象予測システムを始めとした各種システムを連携することにより、航海計画立案の効率化と最適化ができます。

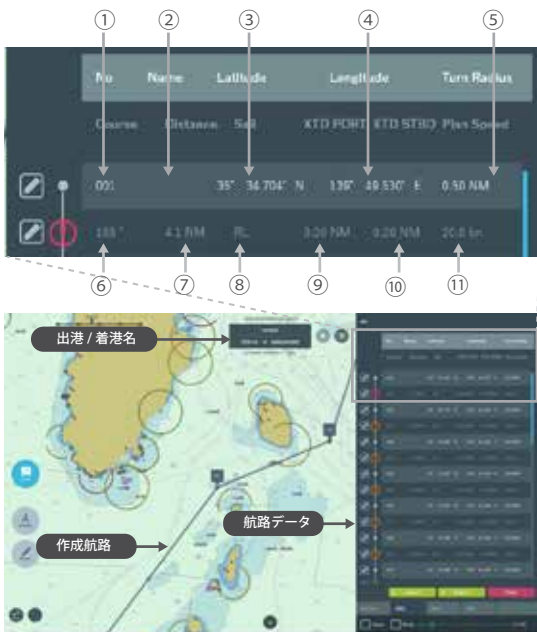


NeCST 画面アイコン説明

機能名	内容
① エマージェンシー機能	NeCST エマージェンシー情報を船陸間でリアルタイムに共有することができます。
② 運動モード	用途に応じて運動表示が選択可能（真運動表示／相対運動表示／フリー）です。
③ デイバイダー機能	2点間の距離と方位の計測が可能です。
④ ルーラー機能	画面上に定規を設置し、距離・方位を計測しながら航路を作成できます。
⑤ ナビプラン機能	航海選択画面に移動し、航海データの新規作成、削除、使用する航海データの選択ができます。
⑥ ホーム機能	チャート上から、自船を見失った場合などに使用します。
⑦ 手書き機能	紙海図への手書きと同様に電子海図へ書き込むことができます。
⑧ ルート作成機能	画面上をタップすることで航路を容易に作成することができます。
⑨ ツール機能	各地点間の距離計測や方位計測を行えます。
⑩ テンプレート作成	出港や入港ごとにおこなう作業をテンプレートとして用意。航路上に配置可能です。
⑪ フォト機能	NeCST 画面上に写真を表示させます。
⑫ Online Weather	最新の気象・海象情報を SSV から取得して表示。契約により最大3日先まで取得可能です。

航路作成機能

紙海図のように手書きなどの情報を元に、画面上をタップすることで航路を容易に作成することができます。NeCSTで作成した航路は、ECDIS へエクスポートすることにより、ECDIS 上で加工することなく航海に使用することが可能です。



① No.	WP の番号。001 から自動的に割り振られ WP512 まで追加可能
② Name	WP の名称を設定
③ Latitude	WP の緯度
④ Longitude	WP の経度
⑤ Turn Radius	回頭半径を設定 (0.00~9.99 NM)
⑥ Course	次の WP への方位
⑦ Distance	次の WP への距離
⑧ Sail	[RL] または [GC] を選択する
⑨ XTD PORT	左舷側の航路幅を設定する (0.01~5.00 NM)
⑩ XTD STBD	右舷側の航路幅を設定する (0.01~5.00 NM)
⑪ Plan Speed	計画船速を設定する (1.0~40.0 kn)

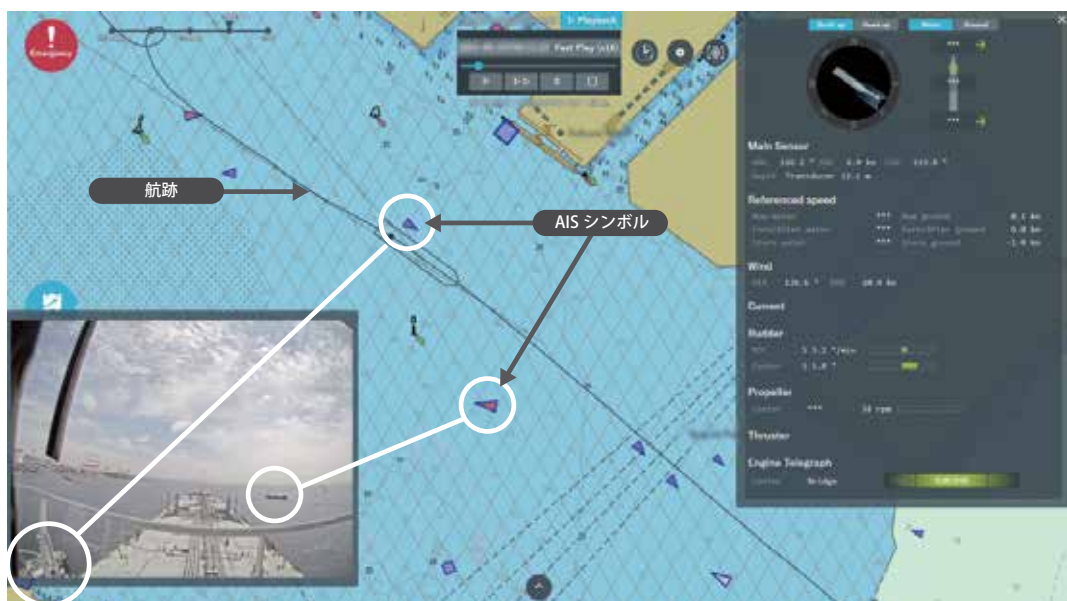
※作成した航路は必ず ECDIS で使用してください。本装置は簡易的な安全チェックを行います。最終的な安全チェックは ECDIS でおこなう必要があります。

航路作成例

プレイバック機能

航海状況を再現して、振り返りに活用

NeCST にカメラを接続することで、カメラ画像や針路等のセンサー情報、更に NeCST 上で作成した航海情報（航路計画、ユーザーチャート、船内業務等）を組み合わせ、情報を過去にさかのぼって再生できるプレイバック機能を搭載しました。入出港時の状況や再現が必要なシーンを容易に確認することが可能です。また、Smart Ship Viewer (SSV) からも本船上のプレイバックデータを取得、表示することが可能です。



- NeCST 画面上で航海状況の再現が容易なため、航海の振り返りなどで活用が可能です。
- カメラウィンドウでは、海図上の自船周囲の状況とカメラ画像が連動します。

最適化航路機能

- 本機能を使用するためには、Smart Ship Viewer 契約および Smart Ship Viewer への接続環境が必要となります。
- 気象海象情報販売会社との契約が必要となります。
- 船舶側に J-Marine NeCST、ECDIS および Inmarsat FX または VSAT の搭載が必要となります。

NeCST で作成した出発港から到着港までの計画航路に対し、航路上の気象海象条件を考慮し、燃料消費量が最小となる最適航路を提供します。また、全世界の風・波・潮流・台風情報を表示し、特に日本近海では高精細な気象海象情報を充実させました。これにより船舶の省エネ運航に寄与します。



情報配信機能

- 本機能を使用するためには、Smart Ship Viewer 契約および Smart Ship Viewer への接続環境が必要となります。
- 陸上側にインターネット接続したパソコンが必要となります。
- 船舶側に NeCST、ECDIS および Inmarsat FX または VSAT の搭載が必要となります。

陸上から本船に対し情報を一斉発信

NeCST 搭載船に対し SSV を利用して陸上オペレーターから情報発信する機能です。船舶管理会社が保有する航海時の周知情報を、NeCST の ENC（電子海図）上に表示させることが可能です。従来、陸上オペレーターから本船に対し配信される E メールなどから、乗組員が該当位置を確認していた作業が省かれるため、より効率的な運航管理が実現できます。



NeCST Manager

船陸間連携により、緊急時の迅速な意思決定をサポート

NeCST Manager は、NeCST 搭載船と陸上でリアルタイムに双方向の情報共有が可能になります。緊急時に船内の状況を陸上でリアルタイム共有を実現する「船陸間のエマージェンシー連携」機能や NeCST 搭載船と連携して管理対象船舶に気象海象情報を重畳表示できる「運航管理情報表示」機能など、陸上と本船のスムーズな連携が可能です。

- NeCST エマージェンシー機能を使用するためには、Smart Ship Viewer 契約および Smart Ship Viewer への接続環境が必要となります。
- NeCST Emergency のすべての機能を使用するためには、NeCST Manager を装備する必要があります。

NeCST エマージェンシー機能 メニュー (6種類)	① Fire (火災)	③ Ground Stranding (座礁)	⑤ Oil Spill (漏油)
	② MOB (落水)	④ Collision (衝突)	⑥ Other (その他)

同一ファイルを互いに更新することで
緊急状況をリアルタイムで共有



・チェックリスト機能

船内で対応すべきチェックリストが画面に表示されます。陸側から対応状況を確認できます。

・手書きデータの共有

あらかじめ登録してある画像に、手書きおよびピンを書き込むことができます。船陸間でリアルタイムに手書き情報を共有することができます。

・チャット機能

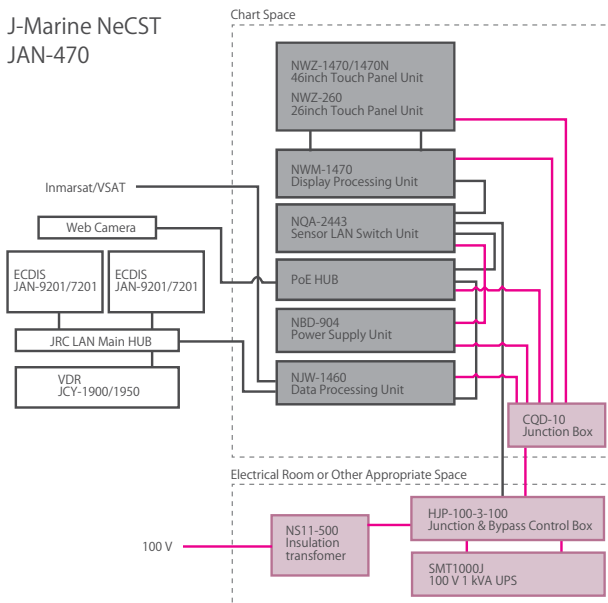
船陸間で文字による会話をおこなうことができます。SSV Mobileがあれば、スマートフォンでチャットが可能です。

・訓練機能

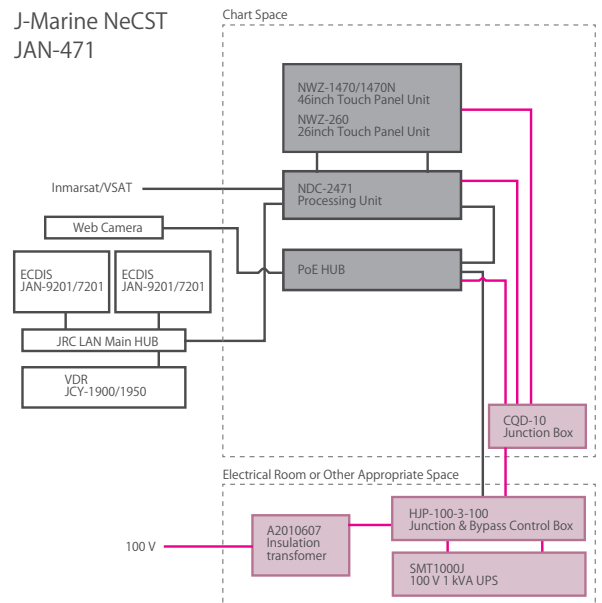
緊急時に備え NeCST エマージェンシー機能を練習するための機能です。クラウドへの通信は発生しません。

システム構成

J-Marine NeCST
JAN-470



J-Marine NeCST
JAN-471



仕様

処理部

品名	表示処理部	データ処理部	表示処理部	データ処理部	処理部	
型名	NWM-1470	NJW-1460	NDC-3470	NDC-3460	NDC-2471	NDC-3471
CPU	Core™ i7-4770S		Core™ i7-6700TE		Core™ i7-4770S	Core™ i7-6700TE
GPU	Matrox®9140 LP Graphics Card	—	—		Matrox®9140 LP Graphics Card	—
メインメモリ	8 GB (2x4 GB)		8 GB		8 GB (2x4 GB)	8 GB
ストレージ	SSD 150 GB		SSD 256 GB		SSD 240 GB	SSD 256 GB
OS	Windows 10 IoT Ent LTSB (64 bit)	Windows Server 2012R2 (64 bit)	Windows 10 IoT Ent LTSB(64 bit)		Windows 10 IoT Ent LTSB (64 bit)	Windows 10 IoT Ent LTSB (64 bit)
電源						
電源入力	AC 100-240 V、50/60 Hz		AC 100-240 V、50/60 Hz (NBD-904にてDC24 Vへ変換)		AC 100-240 V、50/60 Hz	AC 100-240 V、50/60 Hz (NBD-904にてDC24 Vへ変換)
最大消費電力	70 W		53.52 W		70 W	53.52 W
動作環境						
温度	-15~+55 °C					
湿度	95 %以下 (結露なきこと)					
振動	IEC60945 Ed4.0 準拠					
EMC	IEC60945 Ed4.0 準拠					
保護等級	IP20		—		IP20	—

タッチパネルモニター部

型名	NWZ-1470/1470N	NWZ-260
表示部	46インチ Full HDタッチパネルLCD	26インチ Full HDタッチパネルLCD
解像度	1920×1080ピクセル	
タッチ機能	静電容量方式10点マルチタッチ	
電源		
電源入力	AC 100-240 V (動作範囲: AC 85-264 V)、50/60 Hz	AC 85-264 V (動作範囲: AC 85-264 V)、50/60 Hz
最大消費電力	AC: 125 W 以下	108 W 以下
節電時消費電力	AC: 16.5 W 以下	—
待機時消費電力	AC: 5.0 W 以下	AC: 10 W 以下
動作環境		
温度	-15~+55 °C	
湿度	10~90 % (結露なきこと)	
保護等級	IP65 (IP22: 背面)	

※ JAN-470-0ANN、JAN-470A-0ANN、JAN-471-0ANN、JAN-471A-0ANNのタッチパネルモニターはお客様手配になります。

電源部

型名	NBD-904
AC 入力電圧	AC 89 V~132 V/180 V~266 V、47~64 Hz
DC 出力	DC 24 V 6.5 A (連続)

標準構成

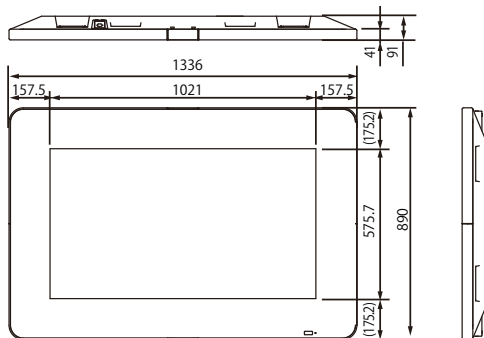
- ・46インチタッチパネルモニター
- ・26インチタッチパネルモニター
- ・表示処理部デスクトップPCタイプ
- ・表示処理部*1
- ・データ処理部
- ・電源部*2
- ・ターミナルボックス
- ・ケーブルキット

オプション品

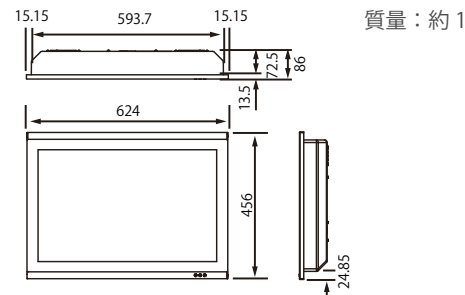
- ・UPS*3 1.0 kVA 100 V/230 V
- ・ストッパー
- ・ネットワークカード
- ・トランス*4
- ・センサーLAN スイッチ部
- ・電源部*5
- ・JB コントロールボックス AC100 V/AC220 V
- ・SLC*6
- ・26 インチ卓上机架*7
- ・GateWayBox
- ・耐震ゲル(GateWayBox 用)

外形寸法図 単位: mm

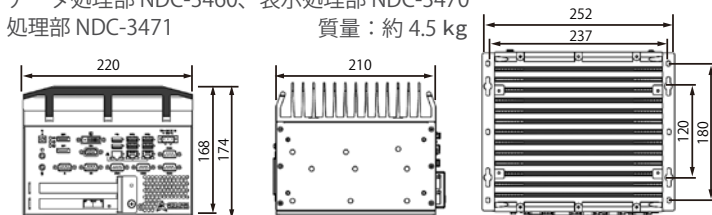
46 インチタッチパネルモニター部 NWZ-1470(N) 質量: 約 47.2 kg



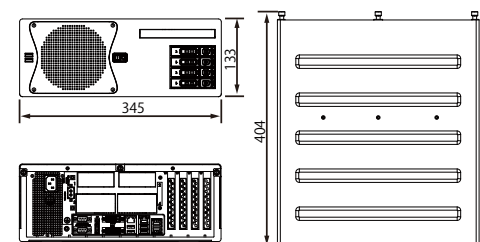
26 インチタッチパネルモニター部 NWZ-260 質量: 約 16 kg



データ処理部 NDC-3460、表示処理部 NDC-3470 処理部 NDC-3471 質量: 約 4.5 kg



データ処理部 NJW-1460、表示処理部 NWM-1470 処理部 NDC-2471 質量: 約 10 kg



*1: 処理部にはCD/DVD ドライブがありません。別途用意していただく必要があります。JRC 動作確認済みのCD/DVD ドライブは「LDR-PUE8U3LWH」です。*2: 電源部はJAN-470A、471Aの場合は標準構成、JAN-470、471の場合にはオプションになります。*3: SMT1000J および、1000IC は、ストッパー (QL-55) を用いて固定します。*4: SMT1000J の絶縁対策に使用します。ケース入りトランスです。*5: データ処理部 (NDC-3460,3470)、処理部 (NDC-3471)、センサーLAN スイッチ部 (NQA-2443/A) および、SLC (NQE-1143-5 (CMH-2370)) に使用します。*6: VDR (JCY-1900)、VDR (VR-3000/7000) または、ECDIS (JAN-9201/7201) を装備していない場合に用意します。*7: 26 インチタッチパネルモニター部 (NWZ-260) に使用します。

Inmarsat Fleet Xpress (FX)



航海の質を向上させる船舶 ICT ソリューション

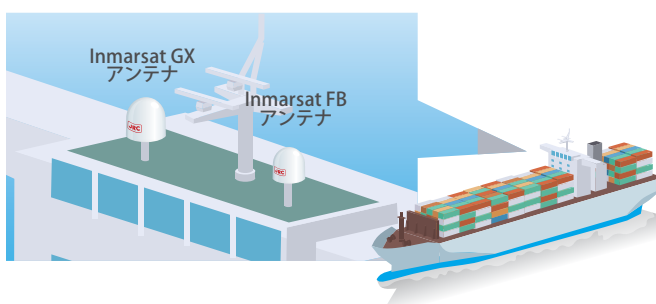
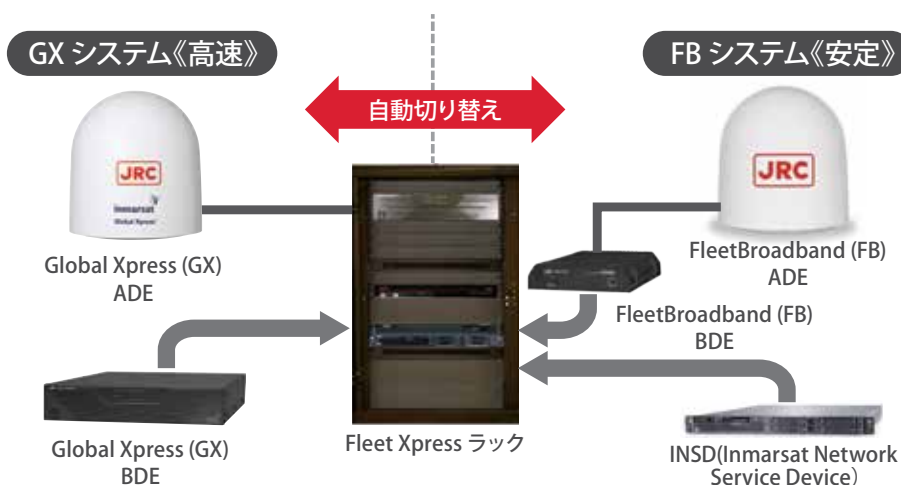
衛星ワンストップサービス対応



Inmarsat Fleet Xpress (FX) ラインナップ

高速&安定通信を実現する Fleet Xpress システム

JUE-60GX (GX : Global Xpress) と JUE-251/501 (FB : FleetBroadband) の船内装置は、ラックの中で一つのシステムとして統合され、FX システムとして機能します。高速通信を提供する GX と雨の影響を受けない安定した通信を提供する FB を状況に応じてシームレスに使い分けます。



特長

安定した接続環境

- ・GX と FB の2つのアンテナを自動で切り替え、ブロッキングを解消
- ・大容量通信に対応した衛星システムにより、高品質な通信をご提供

快適なネットワーク環境での業務効率改善

- ・船陸間での画像や映像でのやり取り ※画質、映像は要調整
- ・電子海図 (ENC)、気象情報・ウェザールーティング、訓練などの活用

乗組員の福利厚生の充実

- ・Eメール、SNS (Facebook、LINE などのチャットアプリほか)
- ・VoIP 電話：ネット上での IP 電話通信が可能
- ・医療サポート：高速接続により、遠隔診療等のサポートが容易



VSAT

KVH TracPhone®V7-HTS

KVH TracPhone®V7-HTS と OceanBB Plus サービスを選択することで頼れる海上ブロードバンドアクセスを実現



特長

グローバルなサービスエリア

スカパー JSAT の通信衛星がカバーするインド洋、アジア、オセアニア海域に加え、KVH 社との太平洋、大西洋、地中海、カリブ海等の海域でのローミング接続を提供することでグローバルなサービスエリアを実現

高速大容量回線

次世代衛星を用いた HTS ネットワークにより、下り回線速度最大 10 Mbps (陸→船)、上り回線速度最大 3 Mbps (船→陸) を実現

多彩な通信プランをご用意

速度で選べる「フラットプラン」と基本通信枠で選べる「ハイスピードプラン」など多彩な通信プランをご用意

● OceanBB はスカパー JSAT 社の登録商品です。● 日本無線株は KVH 社の販売代理店です。装備工事、修理工事を承ります。

衛星通信ワンストップサービス



衛星通信に関わる業務を一手にお引き受けします

当社は、これまでお客様が個別で手配していた「衛星通信機器の購入」「衛星通信機器の設置」「衛星回線利用契約」「船内 LAN の設計・構築」「お支払い」などを一手にお引き受けし、衛星通信・ネットワークに関わる煩雑な業務からお客様を解放します。



サービス内容

- 衛星通信機器の購入
- 衛星通信機器の船舶への設置
- 衛星通信回線のご契約
 - お客様の衛星通信利用用途・頻度に応じて、最適な通信プランのご提案
- 船内 LAN の設計・構築
 - お客様の船舶に最適な船内 LAN の設計および構築をはじめ、船陸間の通信・ソリューションをご提案
- 衛星通信利用料、その他上記サービスにかかる費用をまとめてご請求

導入イメージ

衛星ワンストップサービスは、お客様の業務負担を最小限に抑えて、最適な通信プランや最新の機器を簡単に導入できます。

導入前

衛星通信機器の購入
機器の設置
衛星回線契約
船内 LAN 構築
各業者への支払い



導入後



JRCの代行業務

- 衛星通信機器販売
- 機器の設置
- 衛星回線利用契約
- 衛星回線通信プランのご提案
- 船内 LAN の設計／構築
- 費用のご請求／お支払い

楽々～



リモートメンテナンスシステム (RMS)



船上機器の最新状況を遠隔診断
故障要因の早期究明により保守費用を削減します

リモートメンテナンスシステム (RMS) とは?

当社の VDR JCY-1900/1800 をメンテナンスサーバーとし、VDR に接続された当社製船用電子機器の動作状態を陸上から遠隔診断する、当社独自のシステムです。当社の最新の航法機器・通信機器には、自己診断機能を含んだリモートメンテナンス機能が既に組み込まれており、専用の装置を追加することなく RMS を導入可能です。

※ RMS のご利用には、衛星通信機器の搭載、搭載された航法・通信機器と VDR との配線接続が必須となります。

リモートアクセス機能

運航スケジュールの維持

リモートアクセス機能により、陸上の JRC サポートセンターから各搭載機器の状況を確認することができます。万一、機器が故障した場合でも、乗組員に負担をかけることなく故障原因の究明が可能です。

モニタリング機能

保守費用削減と予防メンテナンス

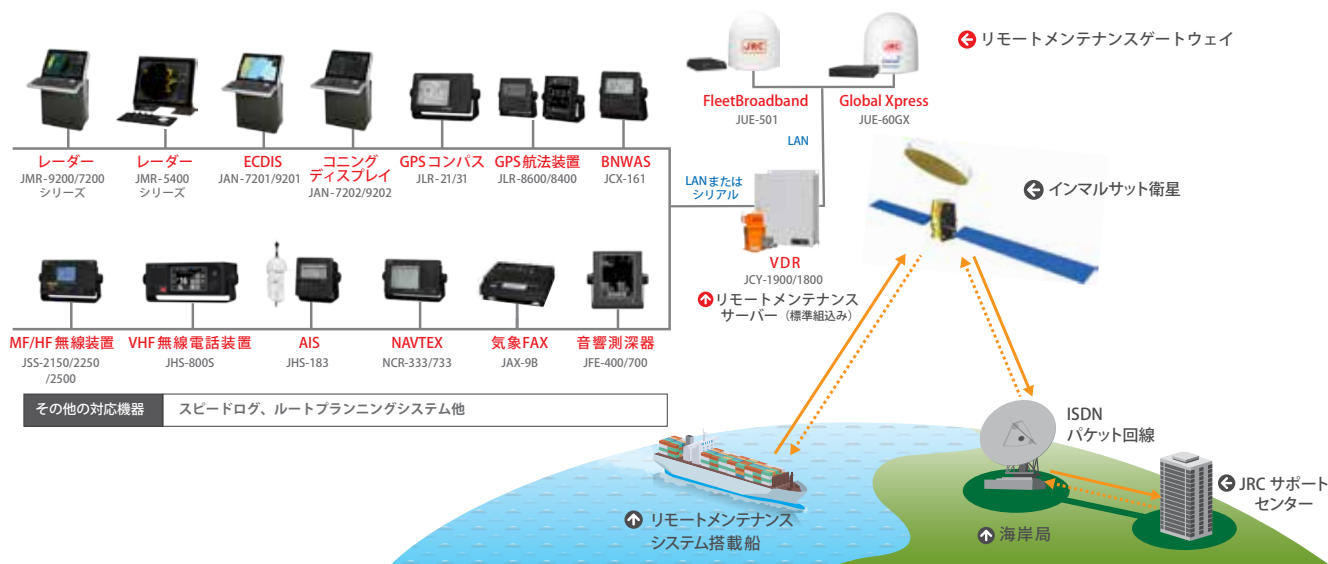
機器の状況を事前に確認することで、故障の原因対策を検討し、必要部品を的確に手配することが可能です。故障状況を調査するための技術者派遣を最小限にすることができ、保守費用の削減が可能です。JRC サポートセンターには各機器の最新の状態と過去の履歴が蓄積されており、状態のトレンドを分析することで予防メンテナンスが可能です。例えばマグネトロンの使用時間を監視することで、事前に交換時期が判断できます。

船上ソフトウェアアップデート機能

航海中でもソフトウェアのアップデートが可能

航海中でも搭載機器のソフトウェアアップデートが可能なため、機器の最新性を維持することができます。

- 各機器のソフトウェアアップデート
- 電子海図などの機器固有の機能データのアップデート
- 機能/性能を維持するためのデータのアップデート



J-Marine GIS



船舶リアルタイムモニタリングシステム

港湾や海域を航行する船舶の動静状況をリアルタイムにモニタリング



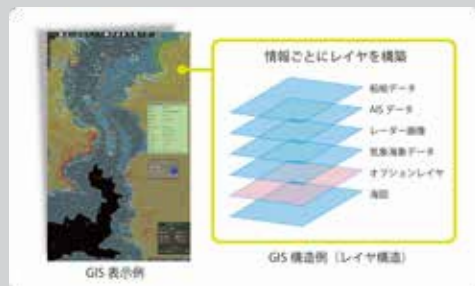
クラウド型サービスプラットフォーム「J-Marine Cloud」と連携し、気象海象情報や船舶の位置情報などをWEB画面に表示します。そのほかレーダー画像やカメラ映像の重畳等、ご要望に適したカスタマイズ性に重きを置いたシステムです。さらに、スマートフォンアプリと連携することで落水検知情報の表示も可能です。

特長

- パソコンのWEBブラウザを利用するため、アプリケーションのインストールは不要
- 船舶情報のプレイバック機能を標準搭載。過去の事故状況解析など、船舶動静状況の再現表示が可能
- J-Marine Cloud との連携による気象海象情報の重畳表示が可能
- GISを採用した情報毎のレイヤー化により、システムの拡張性が容易に実現

GIS表示について

- 各種データと海図の重畳表示が可能
- 目的に合わせた各種データの選択、透過率設定、順番設定が容易
- 複数データの組み合わせにより、解析・分析を視覚的な表示が可能
- 顧客要望に応じて、オプションレイヤーの提供が可能



このカタログ掲載されたJ-Marine Cloudに関する製品、サービス情報は日本無線株式会社ウェブサイト内「船舶用システム」ページをご覧ください。右のQRコードからアクセス可能です。



※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。



注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

JRC 日本無線株式会社

JRCウェブサイト <https://www.jrc.co.jp/>

辰巳事業所 〒135-0053 東京都江東区辰巳1-7-32
マリンシステム営業部 ☎(03) 5534-1115 (ダイヤルイン)

函館支店 〒040-0065 函館市豊川町10-6 ☎(0138) 22-5855
仙台支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアビルズ ☎(022) 781-6173
関西支店 〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ ☎(06) 6344-1633
九州支店 〒812-0024 福岡市博多区綱場町4-1 福岡RDビル ☎(092) 262-2141
釧路 稚内 八戸 焼津 高知 長崎 鹿児島 釜山 上海 台北 マニラ ハノイ
シンガポール ジャカルタ ロッテルダム アテネ エーゲルスン ニューヨーク
ヒューストン リオデジャネイロ

54JM

ISO9001, ISO14001 認証取得

2023年4月作成

© 2023.4 CAT.No.A256 (No.710-1-0.6) MK/BP